



本時のめあて 1000のまとまりを作って「10000」という数を知り、10000という数の構成を理解する。

学習の流れ ※赤字 タブレット活用時間

- ① 大きな数の数え方を確認し、本時のめあてを確かめる。
- ② 一円玉が一萬枚ある図のスライドをロイロノートで配布する。手元のスライドに線をひいたり数字を書き込んだりしながら、10000枚になる貨幣の色々な組み合わせを考える。
- ③ 全体交流をする。
- ④ タブレットを使い、適応題を考える。
- ⑤ 学習の振り返りをする。

☆タブレット活用☆

- ・百円玉が100枚で一万円、百円が50枚と五百円が10枚で一万円、など10000になる数の組み合わせを、一円玉のスライドを使って考える。
- ・自分のスライドを教室のテレビで提示しながら考えを説明する。
- ・「一万円にするためには百円があと何枚？」という適応題を、スライドに書き込みながら考える。

☆タブレット活用のメリット☆

- ・スライドに書き込みながら考えることで、間違えた時や考えが変わった時に消して書き直すのが容易になる。
- ・スライドをコピーすることで、色々な自分の考えを手元に残すことができる。